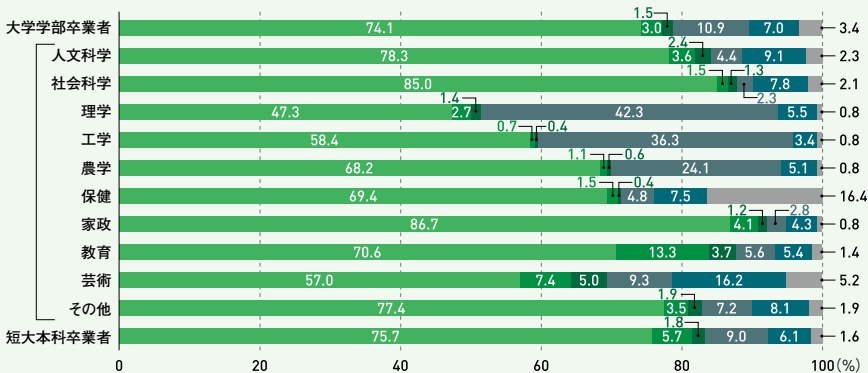


# 大卒者の14人に1人は無業

## [大学・短大卒業者の進路状況]

■ 就職者(正規の職員等) ■ 就職者(正規の職員等でない者) ■ 一時的な仕事に就いた者 ■ 進学者  
■ 進学でも就職でもないことが明らかな者(進学準備中、就職準備中、家事の手伝いなど) ■ その他



2018年大学卒業生全体に占める就職者の割合は77.1%で前年比微増。大学院等への進学者は全体で10.9%だが、理系学部の比率は高め。就職が好調ななか、進学でも就職でもない(無業)者が7.0%存在。なぜその学部で学ぶのか、高校時代から大学卒業後を見据え、目的・目標をもって進学することが大切だ。

文部科学省「学校基本調査」(2018年3月卒業者について) ※「進学者」とは、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者(就職しかつ進学した者を含む)  
 ※「正規の職員等でない者」とは、雇用の期間が1年以上の期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が40～30時間の者  
 ※グラフでは「臨床研修医(予定者を含む)」「専修学校・外国の学校等入学者」「不詳・死亡の者」を「その他」として集計